

効果①

国際競争力と成長 ～民需の拡大～

- 環状道路の整備により、沿線に物流施設や工場が立地する等、民間の投資を喚起します。早期に開通した区間では既にストック効果が発現しています。
- 圏央道（神崎IC～大栄JCT間）の開通により、常磐道と東関東道がつながり、成田国際空港へのアクセスが格段に強化されます。

物流施設や工場の立地等、民間の投資を喚起

【圏央道の早期に開通した区間】

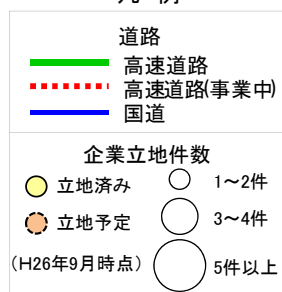
- ・平成19年に全通した関越道～中央道間では既にストック効果が発現

製造品出荷額（億円）

出典：工業統計調査

市町村名	H21	→	H24	(H24/H21)
日高市	1,271	→	1,579	1.24
入間市	2,823	→	3,872	1.37
羽村市	3,823	→	6,350	1.66
日の出町	529	→	637	1.20
埼玉県+東京都	197,983	→	203,373	1.03

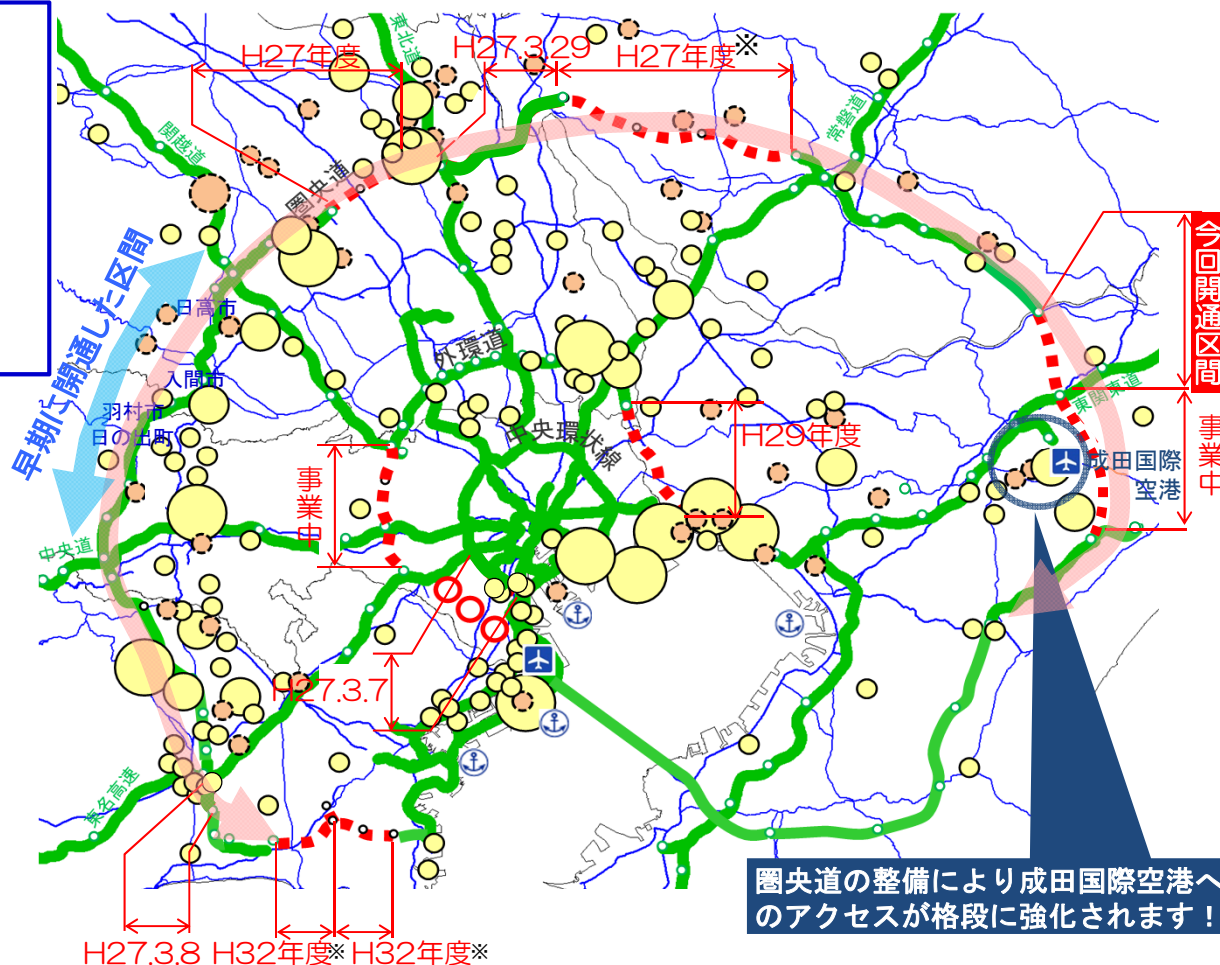
凡 例



※区間の開通時期については、土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

出典）国土交通省調べ

（平成7年以降の物流施設、工業団地、工場の立地を抽出）



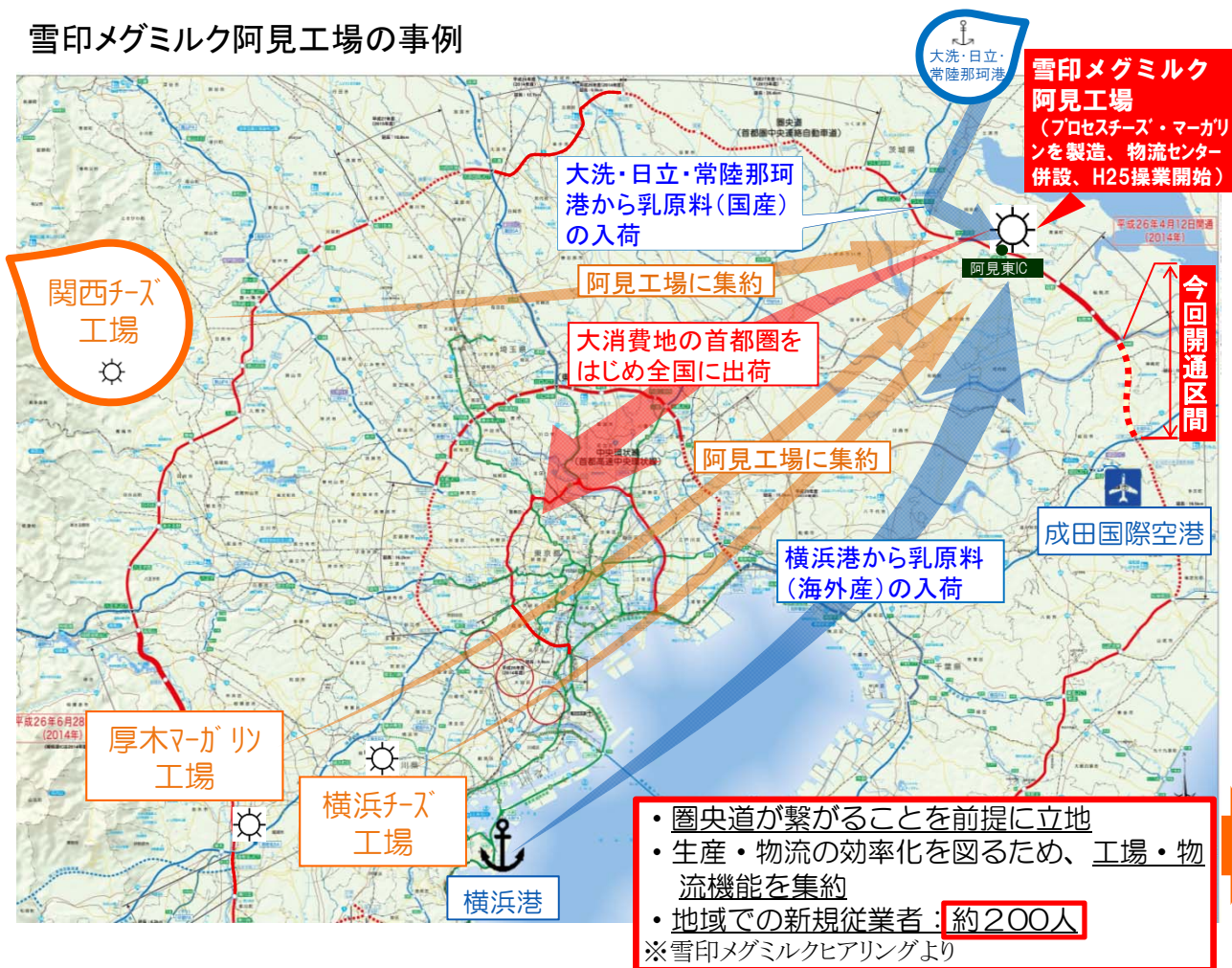
効果①

国際競争力と成長 ～民需の拡大～

- 首都圏3環状道路整備に伴い、物流の効率化を図るために既存施設を集約し、圏央道沿線地域に工場や物流施設が新たに立地されています。
- 地域における新規雇用が創出され、さらなる企業立地の誘発が期待されます。

圏央道沿線への物流拠点の集約・合理化

雪印メグミルク阿見工場の事例



雪印メグミルクを顧客とする企業の新設



阿見町の人口推移

